

第24回国民の自衛官

民間唯一の自衛官表彰



開催概要について

概要

「国民の自衛官」顕彰制度は、日々国民の安全を守り、国際貢献に邁進する自衛官の活動とその功績をさらに知らしめ、国民との架け橋とすべく平成14年に創設され、2026年で24回目を迎えます。

この顕彰制度では、自衛官の中から任務の枠を越えて『国民に感動を与える行動をした自衛官』や日常の行動を通じて『社会との絆を強めた自衛官』などを対象といたします。数次にわたる選考を重ね、防衛省からの推薦と産経新聞社から日常の取材活動による数名の推薦を得て、最終選考委員会での選考により受章者を選出します。

第23回までに236組（212名+24チーム）が受章、毎秋に実施する表彰式には、陰ながら受章者を支え続けたご家族の方にもご出席いただきます。

また、第3回から9回まで表彰式には、寛仁親王殿下の御来臨を賜りました。11回からは殿下のご息女・彬子女王殿下がその御意思を継がれ、御臨席くださっております（18回は新型コロナウイルス感染症の影響により、安全面への配慮から、御臨席を賜りませんでした）。

国防だけでなく、東日本大震災や気候変動により多発する災害救助活動での目覚しい活躍により、国民の自衛官への感謝の思いと本章の意義はますます高まっており、本顕彰制度が自衛隊に対する国民の更なる理解を深め、約23万人の自衛官の励みになることを望んでいます。

事業概要①

■主催 フジサンケイグループ
■主管 産経新聞社
■協力 防衛省

■内容
防衛省より提供される自衛官約20名の推薦資料をもとに最終選考を実施、10名前後の受章者を選出し表彰します。

■選考 2026年7月（予定）
■表彰 2026年10月



事業概要②

■資格条件 原則として現職の防衛省職員・同職員をもって構成される団体であること

■選考基準

- ①自己犠牲の精神で人命救助・人助けなどを行い、国民に感銘を与えた者
- ②社会との絆を強める行いをした者
- ③常に国民の負託にこたえられる精強な自衛官を目指して日夜精進し成果をあげた者

■選考対象 2025年4月～2026年3月までの功績

- ※特別賞などを設ける場合もあります
- ※受章者は10名前後といたします
- ※年齢制限、階級指定などありません



ご協賛内容

本事業は協賛社を募っております。
ご協賛に関心をお寄せいただいた企業様は
弊社営業担当へご連絡をお願いします。